

議会だより

No 168

令和3年
7月31日発行



令和3年 5月臨時会・6月定例会

議会の構成が決まる（正副議長・各常任委員等）

順調に行われているワクチン接種（邑楽町中央公民館）

■ 可決された議案	4
■ 提出議案と議員の賛否	5
■ 一般質問	6～10

一般質問 5人の議員が町の考えを問う

- ・大賀孝訓議員
- ・松島茂喜議員
- ・小久保隆光議員
- ・小島幸典議員
- ・大野貞夫議員

邑楽町議会のホームページに
アクセスできます

議会だよりなど議会に関することや
本会議の様様を動画による録画配信
でご覧いただけます



就任あいさつ

議長 松村 潤
72歳(3期) 篠塚



町民の皆さまには、平素より邑楽町議会に對しまして、温かいご支援とご協力を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

令和3年5月21日に開催された臨時会におきまして、議員皆さまのご推挙を賜り、第37代議長に就任させていただきました。身に余る光栄であるとともに、職責の重さに身の引き締まる

副議長 松島 茂喜
52歳(3期) 新中野



5月臨時会におきまして、議員皆さまのご推挙を賜り、副議長に就任させていただきました。身に余る光栄であるとともに、その職責の重さに身の引き締まる思いであります。

さて、邑楽町議会では、令和元年6月より『町民に分かりやすい開かれた議会』を基本理念として、議会改革を進めております。『邑楽町議会基本条例』の制定をはじめ、『議会に対する町民アンケート』の実施や『議会報告会・

思いであります。

現在、コロナ禍ということで、社会、経済環境は未だかつてない大変厳しい状況にあり、議決機関、行政監視機関としての役割を持つ議会には、今まで以上に機能の充実、強化が求められております。議会の最高規範である議会基本条例の理念に基づき、常に『町民に分かりやすい開かれた議会』を目指し、的確な施策の推進に向け、町民の皆さまのご期待にお応えしていくため議会改革を進めていく所存であります。今後ともご指導を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

意見交換会』を開催させていただきました。また、本年度9月議会からは、館林市・邑楽郡内では先駆けとなりますタブレット端末を導入し、ICT化による議会機能の強化を図ってまいります。

コロナ禍にある現在、議会の役割と責任は、ますます大きくなってまいります。それと同時に、多くの課題が山積しておりますが、議長を補佐し、さらに議会改革を進め、町民の皆さまの期待に応えられるよう、努めていく所存であります。

今後ともご指導を賜りますよう、心よりお願い申し上げます、就任のごあいさつとさせていただきます。

新しい議会構成決まる

5月21日に臨時会が開かれ、議長に松村潤議員、副議長に松島茂喜議員が選出されました。また、各常任委員会などの議会構成と一部事務組合議会議員を選出しました。選挙結果と議会構成は左記のとおりです。

選挙結果

(◎印が当選人)

議長

◎松村 潤

小沢 泰治

8票

6票





佐藤 富代 委員 塩井 早苗 委員 神谷 長平 委員 黒田 重利 委員
原 義裕 副委員長 大野 貞夫 委員長

総務教育常任委員会及び産業福祉常任委員会の正副委員長と委員の計6人で構成され、正副議長がオブザーバーとして出席します。議会運営に関する事項、議長の諮問に関する事項などを担当し、議会運営が円滑に運営されるよう審議します。

議会運営委員会



大賀 孝訓 委員 大野 貞夫 委員 小島 幸典 委員 小沢 泰治 委員
原 義裕 副委員長 黒田 重利 委員長

総務課、企画課、税務課、住民課、会計課、教育委員会の所管に関する事項及び他の常任委員会の所管に属さない事項について、調査及び議案・請願などを審査するため設置されています。

総務教育常任委員会



小久保 隆光 委員 松島 茂喜 委員 瀬山 登 委員 島田 時男 委員
佐藤 富代 副委員長 塩井 早苗 委員長 神谷 長平 委員

都市建設課、農業振興課、農業委員会、商工振興課、子ども支援課、健康福祉課、安全安心課の所管に関する事項について、調査及び議案・請願などを審査するため設置されています。

産業福祉常任委員会



島田 時男 委員 黒田 重利 委員 大賀 孝訓 委員 小久保 隆光 委員
佐藤 富代 副委員長 瀬山 登 委員長

町議会における審議の状況や議会活動などを広く周知するため、各定例会後に「おうらまち議会だより」を発行しています。委員会では、原稿の作成やチェックなどを行うため、編集会議及び校正会議を開催しています。

議会広報委員会

【一部事務組合議会議員】

行政の効率化などを図るため、関係する市町で特定の事務事業を共同で処理しています。

邑楽館林医療事務組合議会議員

塩井 早苗
佐藤 富代

館林地区消防組合議会議員

小島 幸典
原 義裕

大泉町外二町環境衛生施設組合議会議員

松村 潤
大野 貞夫
黒田 重利

太田市外三町広域清掃組合議会議員

松村 潤
瀬山 登

群馬東部水道企業団議会議員

松村 潤

可決された議案

5月臨時会

【専決処分の承認】

邑楽町税条例等の改正

邑楽町都市計画税条例の改正

正

「地方税法等の一部を改正する法律」が、4月1日から施行されたことに伴い、専決処分された条例の改正について、承認しました。

一口メモ

専決処分ってなに？

議会が議決をしなればならない議案について、町長が議会を召集する時間的余裕がない緊急の場合に、町長が議会に代わって処理を行うことです。この場合、次の議会に報告し承認を求めなければなりません。

6月定例会

【人事案件】

教育委員会教育長の任命

教育委員会教育長の任命について同意しました。
藤江利久さん（篠塚）

固定資産評価審査委員会委員の選任

固定資産評価審査委員の選任について同意しました。
松原茂雄さん（中野）

【条例改正等】

邑楽町議会議員及び邑楽町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例

「公職選挙法の一部を改正する法律」の施行に伴い、条例を制定しました。

【条例改正等】

邑楽町議会議員及び邑楽町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例

「公職選挙法の一部を改正する法律」の施行に伴い、条例を制定しました。

邑楽町固定資産評価審査委員会条例の改正

審査申出書等の書面への押印及び署名について、納税者等の負担軽減を図るため、条例の一部を改正しました。

邑楽町議会会議規則の一部を改正する規則

「標準」町村議会会議規則の一部が改正され、議会への欠席事由の整備及び議会への請願手続きについて、規則の一部を改正しました。

【契約の締結】

邑楽町立長柄小学校東校舎トイレ及び内部改修工事

契約金額
5555万円

契約の相手方
邑楽町大字赤堀株式会社 徳川組

契約金額
1億780万円

契約の相手方
邑楽町大字赤堀株式会社 徳川組

邑楽町立邑楽南中学校南校舎トイレ及び内部改修工事

契約金額
1億780万円

契約の相手方
邑楽町大字赤堀株式会社 徳川組

■令和3年度補正予算額（6月）

会計別	予算現額	補正額	予算総額
一般会計	88億9,650万円	3億1,652万円	92億1,302万円

令和3年第1回邑楽町議会臨時会及び第2回邑楽町議会定例会 提出議案と議員の賛否

		議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	結果
議案等		議員名	島田時男	佐藤富代	小久保隆光	黒田重利	大賀孝訓	瀬山茂喜	松島早苗	塩井義裕	原松村潤	神谷長平	小沢泰治	大野貞夫	小島幸典		
第1回臨時会（5月）																	
承認第2号	専決処分の承認を求めることについて (邑楽町税条例等の一部を改正する条例)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	可決
承認第3号	専決処分の承認を求めることについて (邑楽町都市計画税条例の一部を改正する条例)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	可決
第2回定例会（6月）																	
同意第1号	教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて		○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	可決
同意第2号	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて		○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	可決
議案第30号	邑楽町議会議員及び邑楽町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	可決
議案第31号	邑楽町固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	可決
議案第32号	工事請負契約の締結について (邑楽町立長柄小学校東校舎トイレ及び内部改修工事)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	可決
議案第33号	工事請負契約の締結について (邑楽町立邑楽南中学校南校舎トイレ及び内部改修工事)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	可決
議案第34号	令和3年度邑楽町一般会計補正予算（第1号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	可決
発議第2号	邑楽町議会会議規則の一部を改正する規則		○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	可決

※ ○…賛成 ×…反対
議…議長（議事進行を行う議長は採決に加わりません。賛否同数の場合のみ議長裁決として賛否を表明します）

邑楽町議会ICT化の推進へ向け
タブレット端末導入の研修会を開催

邑楽町議会では、9月定例会から導入される、タブレット端末を利用した「ペーパーレス会議システム」の研修会を開催しました。



導入されるタブレット端末

このペーパーレス会議システムは、邑楽町議会が進めている議会改革の一つである「ICT化の推進」により導入されるものです。これまで、議案書や常任委員会の資料などは紙で配付されていましたが、ペーパーレス会議システムの導入により資料を電子化する

ことで、紙の使用量を減らし「環境負荷の低減」を図ることができそうです。また、資料の共有、閲覧が瞬時にできるなど「効果的・効率的な議会運営」や「議員活動の充実」、議員の「ICTのスキル向上」が期待できます。職員においても「業務の効率化」を図るようになります。

邑楽町議会では、ICT化の推進により、議会活動がさらに活発になるよう努めて参ります。



研修会の様子



大賀 孝訓
議員



防災の進捗状況と 行政改革について

問 邑楽町における自然災害で一番危惧されることは何か。

答 町長 2点あるかと思うが、1点は確率が非常に高まっている首都直下型地震。もう1点は利根川、渡良瀬川の両河川に挟まれた本町では、内水氾濫などの自然災害が想定される。これらに対する危機管理体制を持っていなければならぬ。

問 この二大河川に挟まれた本町では、内水氾濫のハザードマップの必要性が論じられてきたが、進捗状況はどうなっているのか。

答 安全安心課長 本町は他市町に比べ下流域であり、町独自では多額の予算が必要になり、広域で考えた方が費用対効果も見込まれる。現状に合った防災マップについては、群馬県減災対策協議会で提案している。

算が必要になり、広域で考えた方が費用対効果も見込まれる。現状に合った防災マップについては、群馬県減災対策協議会で提案している。

成をしていきたい。

問 上流下流というような問題もあるが、町などが危ないというマップを単独で作ってもいいのではないか。

答 安全安心課長 過去に浸水や冠水があった場所を現在のマップに表示するなど、分かりやすく改良していきたい。

問 重ねて聞くが、内水氾濫のハザードマップについては、どの程度研究が進んでいるのか。

答 安全安心課長 現状の防災マップを増刷しており、在庫状況などを確認しながら改訂版の作成を検討していく。

問 町のハザードマップの改訂版はいつできるのか。

答 安全安心課長 無駄のないようなマップの作成

安全安心課長 無駄のないようなマップの作成

くっていききたい。

問 群馬県の避難ビジョンが作成されたが、町の対応は。

避難行動をより具体化したい

答 町長 避難行動を要支援者の個別避難計画、名簿作成についてはそろえてあるが、より具体化した

問 学校における防災教育をどのように考えているのか。

答 教育長 幼小中の連携により、学校に取り残された子どもたちを無事に親に返すという訓練も必要と考えている。

問 社会インフラが、災害に巻き込まれないような国土強靱化地域計画の作成はどこまで進んでいるのか。

答 安全安心課長 現在、コンサルタントと委託契約をして、取りまとめをしている。庁内検討委員会や審議会の答申、パブリックコメントを経て、今年度中に完成する予定である。

その他の一般質問
行政改革について



避難の拠点施設である邑楽町中央公民館

一般質問



松島 茂喜
議員



新型コロナウイルスワクチンの接種について

問 合の対象者はどんな設定か。
答 副町長 当面の間はそのまま進めて行きたい。

問 接種順位も自治体の状況で変化している。今から方針くらいは、定めておく必要がある。接種開始から1カ月以上経過したが、見えてきた課題は何か。

答 副町長 町民に対する豊富で正確な情報提供や、確実に接種の意向が確認できる方法を検討したい。また、長期間にわたる医師や職員などの勤務体制をどう補償するのが課題である。

問 担い手不足の中、7月了る。その後はいつ接種できるのか町民は不安である。早急な情報提供が必要だと思うが。

答 副町長 その方向性が明らかになった時点で速やかに町民にお知らせしたい。

問 4月19日に開始した接種予約では、電話を何百回かけても予約が取れず、多くの町民に迷惑を掛けた。その状況下において、余剰ワクチンの取り扱いを事前公表することなく、町長と教育長が優先的に接種した。その理由は何か。

答 町長 5月12日にキャンセルが出て、ワクチンが無駄にならないようにと担当から連絡が入ったためである。

教育長 副町長が接種の本部長であるので、その指示に従った。教育を預かる立場として早めに打って、その症状がどういうものなのか知るといふことも大事だと思っている。

問 優先基準は、誰が、いつ、どこで定めたのか。

答 副町長 4月23日に開催した実施本部の会議である。

問 それでは、5月10日の接種開始まで、事前公表するのに相当な期間があったはずである。公表する意志が全くなかったのか、私が指摘するまで気が付かなかったのか、どちらなのか。

答 副町長 指摘を受けるまでそういった認識が無かった。

問 全く残念である。町民の気持ちを一つも酌んでいない。キャンセルが出たので接種したという説明

問 だったが、町長と教育長は本当にそのキャンセル分接種したのか。

答 副町長 5月12日は、160人の接種を予定していたが、受付用の名簿と集計表の間に齟齬があり、165人分のワクチンを解凍してしまった。

問 それをなぜ積極的に話さないのか。

答 副町長 そういった単純ミスは公表していない。

問 不信感や不安感を町民に与えてはならないことは、行政の最低限の仕事である。改めていただきたい。現在の余剰ワクチンの接種基準がクリアされた場

答 副町長 その方向性が明らかになった時点で速やかに町民にお知らせしたい。



※ワクチンを解凍：ワクチンは冷凍庫で保管しているため、使用する時は室温などで解凍しなければなりません。



小久保 隆光
議員



新型コロナウイルス 感染防止対策について

問 新型コロナウイルス感染症の後遺症に悩んだり、生活に追われた困窮者への支援や対策は、引き続き緊張感をもって取り組む

問 全国で新型コロナウイルス感染者が約77万2千人、群馬県では約7千970人、町では38人と聞いている。感染者の現状は。

答 健康福祉課長 群馬県では6月10日現在、103人が入院し、そのうちの10人が重症。宿泊施設での療養者は60人と公表されている。また、変異ウイルス感染者については、681件の報告があり、死亡者は、県内発生のうち147人となっている。

問 高齢者のワクチン接種については、医師や看護師が確保され、7月末には完了すると聞いているが現状は。

答 健康福祉課長 65歳以上の接種を希望する全ての方に、7月末接種完了の目途が立っている。7月末までに接種できなかったら終わりということではなく、受けなくなった時に接種の予約を取っていたことが可能で、安心していただけるかと思う。

問 学校生活について、声を出さず音楽教育での感染防止対策は万全か。また、給食時間や部活動での感染防止対策はどのようにしているのか。

答 教育長 音楽の時は、常にマスクを着用し換気を行っている。合唱やリコーダーの演奏は子ども同士距離を取り、全員が同じ

方向を向いて行うほか、飛沫が飛ばないように配慮している。中学校においては秋に合唱コンクールを予定しているが、課題曲を歌う際はマスクを着用し、練習している。給食時は、まず給食の前に手指を消毒し、配膳当番は手袋を着用している。給食は自分で取りに行き、マスクを着用し、全員が同じ方向を向き、マスクを外し無言で食べるようにしている。部活動においては、活動内容の制限や室内では換気を徹底するほか、運動をするときは間隔を十分確保して活動している。共用の道具は消毒を行い、感染防止対策を常に心掛けている。

答 町長 コロナに感染した方については、本人の申請に基づき見舞金を交付するが、町ではその方々の把握はしていない。社会福祉協議会では、生活再建までの生活資金を貸し出す小口生活資金の貸付など多岐にわたり応援している。感染防止に向け、今後も引き続き緊張感をもって取り組んでいきたい。

町長 コロナに感染した方については、本人の申請に基づき見舞金を交付するが、町ではその方々の把握はしていない。社会福祉協議会では、生活再建までの生活資金を貸し出す小口生活資金の貸付など多岐にわたり応援している。感染防止に向け、今後も引き続き緊張感をもって取り組んでいきたい。



町のワクチン接種会場（邑楽町中央公民館）

一般質問



小島 幸典
議員



ふるさと納税の 使用箇所と目的は

問 邑楽町のふるさと納税の過去3年分の金額はどのような額か。

答 **総務課長** 平成30年度が156万円、令和元年度が1千60万2千円、令和2年度が1千228万5千円である。

問 ふるさと納税された寄附金のこれまでの具体的な使途と、過去3年間の総額は。

答 **総務課長** 各年ごとにふるさと振興基金に積み立てをし、翌年度以降、予算に繰り入れて使用している。福祉事業やおうら祭り、バスなどのふるさとづくりに関係するものに充当している。3年間の総額は、2千444万7千円になる。

問 寄附金の使途については、町の考えで使用場所を決めているのか、それとも寄附者の意見か。

答 **総務課長** ふるさと納税の寄附を申し込むときに、6つに分かれている使用道の中から希望するものを一つ選んでいただいている。その意見を参考に、ふるさと振興基金から該当する事業へ総務課で予算を割り振っている。

問 総務課だけでは、どのように割り振りの額を決めているのか不透明である。協議する団体に民生委員児童委員などは参加しているのか。

答 **総務課長** ふるさと納税の割り振りを検討す

る会議などは設けていない。寄附者から使用道の希望を聞き、その結果を受け、該当するような事業へ割り振っている。町では、個別の事業へのふるさと納税は募っていない。今後、そのような要請、要望などがあれば、その事業をふるさと納税の結果に応じて実施するようなことも検討したいと思う。

問 スポーツなどの各種団体を応援してもらい、会をつくった方を含めたみんなが盛り上がるのではないかと。そういう組織づくりをどう思うか。

答 **総務課長** ふるさと納税の有効に活用できるように努める

問 町長 寄附されたふるさと納税を有効に活用できるように努めていくことが、与えられた仕事だと理解している。

問 ふるさと納税をしてくれた人が、町の教育や産業などを知る意味で会をつくってもらいたい。また、寄附金がどう使われたのか見えるような組織をつくってもらいたい。

答 **教育長** 使用道を検討する会だが、ふるさと納税は基金に積み、そこから割り振るので、予算書でどのように使われているかが分かり、健全に運営されていると思う。

問 子どもたちの給食費への充当は可能か。

答 **総務課長** 給食費に充てることは良いが、どの程度が良いのかなど、他の事業との兼ね合いもあり検討させてほしい。

邑楽町ふるさと納税寄附
ふるさとを応援してください！

寄附金の使い道

皆様からお預かりする心こもった寄附金は、以下のまちづくりのために大切に使わせていただきます。

- 地域で支え合う健康と福祉のまちづくり
- 安心して子どもを産み育てられるまちづくり
- 災害に強く犯罪や事故の少ない安全なまちづくり
- 子どもたちの豊かな心と生きる力を育むまちづくり
- 町民の学ぶ意欲と創造力を育むまちづくり
- その他のまちづくり

◎ これまでの実績

5年分（直近）の実績です。

年度	件数（件）	金額（円）
平成28年度	27	747,000
平成29年度	28	870,000
平成30年度	60	1,560,000
令和元年度	369	10,602,000
令和2年度	627	12,285,000

町ホームページでふるさと納税を募る

問 返礼品の決定方法は。

答 **総務課長** 寄附をするときに希望する品を選択できるようなっている。



大野 貞夫
議員



町の行政執行における 危機管理について

問 新型コロナウイルス感染症対策の前面に立たされている保健センターの業務の概要について聞きたい。

答 健康福祉課長 正規職員は、センター長1人、保健師8人、管理栄養士1人の計10人である。地域住民に対し、総合的な保健サービスを提供する施設で、母子保健、健康づくり、精神保健、食育、保健衛生の業務を行っている。それぞれの事業で妊娠期から高齢期、全ての住民が健康な状態で日常生活を送る点で欠かせない施設である。

問 業務が多岐に渡る職場であり、さらにコロナウイルスで仕事量が非常に

増え、時には夜11時近くまで仕事をしている実態があると聞いた。センター長以外は女性で、30代が多く子育ての真っ最中である。仕事を休まざるを得ない場合、他の職員に負荷がかかるという悪循環もあったと聞いた。行政執行をしていく上での危機管理が問われている。今後も感染状況は続くのではないかと。そういう点では緊急事態である。自治体は、町民サービスが主たる仕事であり、それには、ある程度のゆとりが必要である。職場の労務管理はどうなっているのか。職員の増員を検討すべきではないか。

答 町長 現時点では、増員の考えはない。組織

の仕事をする上で、コロナの問題でいえばそのことに精通をしている職員が必要になる。職員を採用し、その職員がいろんな問題を把握するまで時間がかかり、結果、専従職員の労力がこちらへ向けられ本来の仕事が後手に回ってしまう。健康の問題もあるので、『十分気を付けるように』と指示はしている。コロナワクチン接種については本部長（副町長）を中心に、副本部長（総務課長、健康福祉課長）、その他職員が約50人、また、民生委員児童委員、ボランティアの皆さんの協力により事業が進められている。

問 役場の正規職員は、平成24年が196人、令和3年が195人、非正規職員は241人である。一年ごとの契約のため身分保障が不安定な非正規職員が、全職員の半数以上を占めている。基本的には、正規職員を増やす必要がある。効率第一主義というのが典型的な民間委託で、実際に行っている自治体もあるが、

本来の自治体の仕事は公務員としての職員が行うべきである。9月議会で提案予定の機構改革、それについての充実した住民サービスと第六次総合計画に基づくまちづくり、この実現のために思い切った人材の活用が望まれると思うが。

職員が疲弊しない ような状況をつくる

答 町長 職員数は定員の2割ほど少なくなっている。その結果、いろんな問題を起すようなことがあってはならない。職員が

疲弊しないような状況をつくるのが、与えられた仕事だと思っている。



町民の健康を守る砦の邑楽町保健センター



休憩室 The Lounge

定年退職を機に野菜作り



浅沼 宏
(馬場大林・25区)

私は、定年退職後、毎日畑通いをして
います。もうかれこれ15年目になりました。
畑は、亡き義父から受け継ぎました。
義父もその時は後期高齢でしたので『今
後、良かったら野菜作りでもしてみない
か』とのことでした。昔、私の両親も農
業をしていたので手伝うこともあり、な
んとかできるかなと思いい、快く受けま
した。『好きこそ物の上手なれ』で、現在
に至っております。

畑では、七色畑的でいろいろな野菜や
果樹もやっています。年間を通して忙し
いですが、作物ができる楽しみを実感し
ています。妻も農作業に事細かに頑張っ
ており、毎日夫婦で畑仕事をしています。
畑があることによって私たち夫婦も、生
きがいがあり、体調も維持することがで
き、義父には感謝しております。この先
もできる限り頑張っていけたらと思っ
ております。

議会のうごき

5月

- 12日 議会運営委員会
- 13日 総務教育常任委員会
- 14日 全員協議会
- 21日 臨時会
- 26日 邑楽郡町村議会議長会臨時会

6月

- 2日 議会運営委員会
- 3日 総務教育常任委員会、産業福祉常任委員会
- 4日 全員協議会
- 14日～18日 6月定例会（本会議、議会運営委員会、各常任委員
会、全員協議会、議会広報委員会）
- 29日 大泉町外二町環境衛生施設組合議会

7月

- 1日 太田市外三町広域清掃組合議会
- 5日 タブレット端末操作説明会
- 6日 議会広報委員会編集会議
ペーパーレス会議システム操作説明会
全員協議会
- 7日 館林地区消防組合水防協議会
館林地区消防組合議会
- 9日 群馬東部水道企業団議会
- 14日 議会広報委員会校正会議
- 19日 ペーパーレス会議システム操作説明会
- 20日 全員協議会

産業福祉常任委員会正副委員長

邑楽町ワクチン接種会場・県営東毛ワクチン接種センター状況調査報告



東毛ワクチン接種センター

6月8日、ワクチン接種を開始し1カ月が経過した町の接種会場は、当初の配置から最短でシンプルな動線に進化していました。予約者の待ち合いも民生委員児童委員の協力のもとスムーズに行われ、全体を通し経過観察まで誰もが安心して接種できると実感しました。

6月23日には、東毛ワクチン接種センターを視察させていただき、予診票のチェック体制の強化や1日に3回全体ミーティングを行うなど誤接種防止に向け徹底された運営がされていました。

それぞれの会場が各々のスペースを有効に活用し、スムーズな接種が心掛けられていることを知り、有意義な視察となりました。

産業福祉常任委員会 委員長 塩井早苗
副委員長 佐藤富代

議会を傍聴しましょう

次回の定例会は**9月7日** から**17日**を予定しています

(開会は原則、午前10時 一般質問は8日、9日を予定)

住所・名前・年齢を受付票に書くだけでどなたでも傍聴できます。
役場庁舎1階ロビーのテレビにおいても、本会議の様態を中継して
いますので、お気軽にご覧ください。

議会の会議録（議事などの経過をそのまま記録したもの）は、
図書館、中央公民館、長柄公民館、高島公民館に置いてありま
す。また、ホームページでも会議録全文や本会議の様子を動画配
信により見ることができますので、ご覧ください。

邑楽町議会

検索



詳しくは、議会事務局まで 47-5000

※ 新型コロナウイルス感染症の感染状況により、傍聴をご遠慮いただく場合があります。

鹿児島県奄美大島

私の生まれは、鹿児島県奄美大島です。鹿児島から南に約400キロメートル、鹿児島本土と沖縄本島のほぼ中間に位置しています。奄美大島と聞くと小さな島を想像するかも知れませんが、それほど小さくはなく面積は沖縄本島の8割ほどです。

奄美大島といえば、豊かな自然、そして美しい海です。祖母の家の目の前には綺麗な海が広がり、小さい頃によく遊んでいました。あの景色は、今でも忘れません。

父の仕事の関係で、東京都品川区に引っ越しをしましたが、小学生の頃は両親の仕事が忙しかったので、夏休みには妹と二人だけで飛行機に乗り、祖母が待っている奄美へ行きました。大自然の中で思いっきり遊び、祖母の作る島料理を食べ、毎年夏休みの一カ月ほどを過ごしていました。

そして、夫の転勤を機に邑楽町に越して来ました。邑楽町は子育てがしやすく、夫の両親や子どもの縁で知り合った方たちに支えられ、楽しく暮らしています。

奄美大島には、まだ家族と一緒にいることがないので、今度行ってみたいと思います。あの青い海を子どもたちに見せてあげたいです。



田部井 美穂
(藤川・16区)



奄美大島の青く美しい海

編集後記

群馬県の新型コロナウイルス感染症拡大状況が、最近落ち着いてきたように思います。5月の大型連休前には、感染が再び広がって第4波に見舞われましたが、まん延防止等重点措置の適用により、飲食や観光などさまざまな制約に多くの県民が理解し、我慢し、協力した結果だと思えます。さらには、医療関係者のご尽力により、ワクチンの接種が急ピッチで進められている効果も出ているのだと思います。

さて、邑楽町議会では、議員の任期4年の折り返し点を過ぎ、5月臨時会において議長をはじめ常任委員会などの議会構成、一部事務組合議会議員などの改選を行いました。議員各位が新たな気持ちでよりよい町づくりに取り組んでいきます。

議会広報委員会は、引き続き同じメンバーで『分かりやすく、親しみのある議会だより』を皆さまにお届けしたいと思えます。どうぞご愛読をお願いいたします。

(瀬山 記)

おつらまち議会だより167号(令和3年4月30日発行)16ページ、わたしのふるさとのお名前に誤りがありました。お詫びして訂正します。

誤…山田孝之さん
正…山田孝行さん